

## 2021年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月7日

上場会社名 株式会社日伝 上場取引所 東  
 コード番号 9902 URL <https://www.nichiden.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 福家 利一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 寒川 睦志 TEL 06-7637-7000  
 管理本部長  
 定時株主総会開催予定日 2021年6月25日 配当支払開始予定日 2021年6月28日  
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月28日  
 決算補足説明資料作成の有無：無  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期の連結業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	102,751	△8.5	3,943	△23.5	4,176	△22.4	2,841	△18.1
2020年3月期	112,334	△9.8	5,154	△21.8	5,382	△20.6	3,467	△23.8

(注) 包括利益 2021年3月期 5,035百万円 (94.8%) 2020年3月期 2,584百万円 (△36.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	90.48	—	3.6	3.9	3.8
2020年3月期	110.41	—	4.6	5.2	4.6

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 ー百万円 2020年3月期 ー百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	112,024	80,314	71.7	2,557.49
2020年3月期	102,752	76,692	74.6	2,442.16

(参考) 自己資本 2021年3月期 80,314百万円 2020年3月期 76,692百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	3,607	△6,576	△1,902	17,967
2020年3月期	5,576	△6,428	△1,763	22,814

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00	1,413	40.8	1.9
2021年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00	1,256	44.2	1.6
2022年3月期 (予想)	—	0.00	—	40.00	40.00		51.5	

### 3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	53,400	—	1,430	—	1,610	—	1,100	—	35.03
通期	110,000	—	3,330	—	3,630	—	2,440	—	77.70

(注) 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用するため、上記の連結業績予想は当該会計基準等適用した後の金額となっており、対前期及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2021年3月期	31,886,000株	2020年3月期	31,886,000株
2021年3月期	482,514株	2020年3月期	482,514株
2021年3月期	31,403,486株	2020年3月期	31,403,486株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	99,547	△8.3	3,864	△22.6	4,086	△21.9	2,780	△17.6
2020年3月期	108,570	△10.1	4,991	△22.4	5,234	△21.0	3,372	△24.1

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	88.53	—
2020年3月期	107.40	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	110,787	79,647	71.9	2,536.28
2020年3月期	100,867	76,091	75.4	2,423.03

(参考) 自己資本 2021年3月期 79,647百万円 2020年3月期 76,091百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(追加情報) .....	10
(セグメント情報) .....	10
(1株当たり情報) .....	10
(重要な後発事象) .....	10
4. その他 .....	11
役員の異動 .....	11

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、中国等への輸出の回復により徐々に持ち直しの動きを見せつつありましたが、年末からの新型コロナウイルス感染再拡大により、都市部を中心に経済活動が鈍化し、失業率の上昇や雇用・所得環境の悪化など先行きの不透明感が高まりました。

当社グループを取り巻く機械器具関連業界におきましては、各製造業の生産が持ち直すと共に、先送りとなっていた設備投資に再開の動きも見え始めておりましたが、輸送コンテナの不足に加え、テキサス州での大規模停電によるエンジニアリングプラスチックの供給不足や慢性的な半導体の不足が重石となり、未だ厳しきの残る状況が続いております。

このような状況の下、第2次中期経営計画『NEXT FIELD 2020』の最終年度の取り組みを着実に実行し、「新たな商社機能」の強化と提供価値および貢献力の向上に取り組んでまいりました。

具体的には、各種展示会が中止や延期される中、当社独自のWebセミナー開催など、各種ITツールを駆使することで、ユーザー様への課題解決提案機会の創出と事業領域の拡大を図ってまいりました。9月にはオンライン展示会「ITmedia Virtual EXPO 2020 秋」に出展し、製造現場の課題に対する最適なソリューション提案を行いました。

設備面では、5月に手狭となっておりました熊本営業所を新築移転し、6月には愛知県西三河地区及び尾張地区東南部地区での販売力強化とサービス向上を目的に、刈谷営業所を新設いたしました。また、3月には西東京営業所を新築移転いたしました。

この結果、当連結会計年度におきましては、売上高1,027億5千1百万円（前年同期比8.5%減）、営業利益39億4千3百万円（前年同期比23.5%減）、経常利益41億7千6百万円（前年同期比22.4%減）となり、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、28億4千1百万円（前年同期比18.1%減）と減収減益となりました。

商品別としましては、動力伝導機器分野では、精密減速機、伝導用ベルト、クラッチ・ブレーキ等が堅調に推移した結果、売上高439億5千4百万円（前年同期比6.4%減）となりました。

産業機器分野では、コンベヤ関連機器、システム関連機器が低調に推移した結果、売上高228億6千5百万円（前年同期比14.9%減）となりました。

制御機器分野では、サーボモータ、センサー、ロボット関連機器等が堅調に推移した結果、売上高359億3千1百万円（前年同期比6.7%減）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ92億7千1百万円増加し、1,120億2千4百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末に比べ20億5千9百万円減少し、714億7千8百万円となりました。これは、電子記録債権が24億8千1百万円、有価証券が25億2百万円それぞれ増加したものの、現金及び預金が48億4千3百万円、受取手形及び売掛金が18億7千5百万円、商品及び製品が7億3千4百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ113億3千1百万円増加し、405億4千5百万円となりました。これは、投資有価証券が61億4百万円増加したこと等のほか、新西部物流センター（門真）の建物引き渡しが完了したことに伴いファイナンス・リース取引としてリース資産を計上したこと等によりリース資産が45億7千5百万円増加したことによるものであります。

当連結会計年度末における負債は、前連結会計年度末に比べ56億5千万円増加し、317億9百万円となりました。流動負債は、前連結会計年度末に比べ4億3千7百万円減少し、223億1千万円となりました。これは、電子記録債務が6億円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ60億8千7百万円増加し、93億9千8百万円となりました。これは、リース債務が49億9千5百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は、その他有価証券評価差額金が21億8千4百万円、利益剰余金が14億2千8百万円増加したこと等により前連結会計年度末に比べ36億2千1百万円増加し、803億1千4百万円となりました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ48億4千6百万円減少し179億6千7百万円となりました。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、36億7百万円（前年同期において得られた資金55億7千6百万円）となりました。これは主に、売上債権の増加額が6億9百万円、法人税等の支払額が13億8千3百万円あったものの、税金等調整前当期純利益が41億5千6百万円、減価償却費が11億5千万円、たな卸資産の減少額が7億6千3百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、65億7千6百万円（前年同期において使用した資金64億2千8百万円）となりました。これは主に、有価証券の取得による支出が20億円、有形固定資産の取得による支出が8億7千4百万円、投資有価証券の取得による支出が35億9百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、19億2百万円（前年同期において使用した資金17億6千3百万円）となりました。これは配当金の支払額が14億1千2百万円あったこと等によるものであります。

#### (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルスのワクチン接種の進捗や抗体の持続期間にも左右されますが、引き続き個人や企業活動の抑制継続が予想され、経済への影響は長期化すると思われま

す。こうした中で当社グループは、困難な状況の中においても「誠実に、お取引先様のために一心に汗をかく」という想いを込めた、第3次中期経営計画『New Dedication2023 ～新たな貢献へ～』を策定し、「新常態」での継続的な成長と持続可能な社会の実現に貢献する取り組みを進めてまいります。

次期の連結業績見通しにつきましては、売上高1,100億円、営業利益33億3千万円、経常利益36億3千万円、親会社株主に帰属する当期純利益24億4千万円を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	23,282	18,439
受取手形及び売掛金	24,980	23,105
電子記録債権	9,320	11,802
有価証券	6,000	8,502
商品及び製品	9,543	8,808
仕掛品	23	5
原材料及び貯蔵品	28	20
その他	369	805
貸倒引当金	△10	△10
流動資産合計	73,538	71,478
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,492	9,969
減価償却累計額	△5,245	△5,494
建物及び構築物(純額)	4,247	4,474
機械装置及び運搬具	58	50
減価償却累計額	△49	△44
機械装置及び運搬具(純額)	9	5
土地	5,971	6,111
リース資産	2,864	7,691
減価償却累計額	△1,636	△1,888
リース資産(純額)	1,227	5,803
建設仮勘定	667	639
その他	889	958
減価償却累計額	△681	△675
その他(純額)	207	282
有形固定資産合計	12,330	17,316
無形固定資産		
その他	1,785	1,499
無形固定資産合計	1,785	1,499
投資その他の資産		
投資有価証券	14,136	20,241
長期貸付金	40	33
繰延税金資産	30	47
その他	890	1,407
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	15,098	21,729
固定資産合計	29,213	40,545
資産合計	102,752	112,024

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,096	10,434
電子記録債務	10,125	9,524
リース債務	263	488
未払法人税等	716	534
賞与引当金	495	414
その他	1,050	913
流動負債合計	22,747	22,310
固定負債		
リース債務	1,329	6,324
繰延税金負債	1,204	2,248
退職給付に係る負債	82	87
その他	695	738
固定負債合計	3,311	9,398
負債合計	26,059	31,709
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,368	5,368
資本剰余金	7,283	7,283
利益剰余金	61,116	62,544
自己株式	△672	△672
株主資本合計	73,095	74,523
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,605	5,789
為替換算調整勘定	△8	1
その他の包括利益累計額合計	3,597	5,790
純資産合計	76,692	80,314
負債純資産合計	102,752	112,024

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	112,334	102,751
売上原価	95,991	88,188
売上総利益	16,342	14,563
販売費及び一般管理費	11,188	10,619
営業利益	5,154	3,943
営業外収益		
受取配当金	172	160
仕入割引	333	291
その他	121	133
営業外収益合計	627	585
営業外費用		
支払利息	53	51
売上割引	310	260
その他	35	41
営業外費用合計	399	352
経常利益	5,382	4,176
特別損失		
関係会社株式評価損	164	—
関係会社株式売却損	—	19
特別損失合計	164	19
税金等調整前当期純利益	5,217	4,156
法人税、住民税及び事業税	1,668	1,233
法人税等調整額	81	81
法人税等合計	1,749	1,315
当期純利益	3,467	2,841
親会社株主に帰属する当期純利益	3,467	2,841



(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	3,467	2,841
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△862	2,184
為替換算調整勘定	△20	9
その他の包括利益合計	△882	2,193
包括利益	2,584	5,035
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,584	5,035

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	5,368	7,283	59,061	△672	71,040	4,467	12	4,479	75,520
当期変動額									
剰余金の配当			△1,413		△1,413				△1,413
親会社株主に帰属する当期純利益			3,467		3,467				3,467
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△862	△20	△882	△882
当期変動額合計	—	—	2,054	—	2,054	△862	△20	△882	1,171
当期末残高	5,368	7,283	61,116	△672	73,095	3,605	△8	3,597	76,692

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	5,368	7,283	61,116	△672	73,095	3,605	△8	3,597	76,692
当期変動額									
剰余金の配当			△1,413		△1,413				△1,413
親会社株主に帰属する当期純利益			2,841		2,841				2,841
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						2,184	9	2,193	2,193
当期変動額合計	—	—	1,428	—	1,428	2,184	9	2,193	3,621
当期末残高	5,368	7,283	62,544	△672	74,523	5,789	1	5,790	80,314

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	5,217	4,156
減価償却費	1,158	1,150
関係会社株式評価損	164	—
関係会社株式売却損益(△は益)	—	19
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△97	△81
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△15	5
受取利息及び受取配当金	△194	△213
支払利息	53	51
売上債権の増減額(△は増加)	3,151	△609
たな卸資産の増減額(△は増加)	237	763
その他の資産の増減額(△は増加)	△59	△429
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,458	△244
未払消費税等の増減額(△は減少)	375	△467
その他の負債の増減額(△は減少)	△46	719
その他	△5	△0
小計	7,484	4,818
利息及び配当金の受取額	193	222
利息の支払額	△53	△51
法人税等の支払額	△2,047	△1,383
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,576	3,607
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△24	△64
定期預金の払戻による収入	10	51
有価証券の取得による支出	△2,000	△2,000
有形固定資産の取得による支出	△682	△874
有形固定資産の売却による収入	1	0
無形固定資産の取得による支出	△35	△172
投資有価証券の取得による支出	△3,650	△3,509
子会社株式の売却による収入	—	5
貸付けによる支出	△111	△1
貸付金の回収による収入	20	119
その他の支出	—	△172
その他の収入	44	40
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,428	△6,576
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△239	△270
子会社出資金の取得による支出	△110	—
子会社株式の取得による支出	—	△219
配当金の支払額	△1,413	△1,412
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,763	△1,902
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	24
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,615	△4,846
現金及び現金同等物の期首残高	25,430	22,814
現金及び現金同等物の期末残高	22,814	17,967

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (追加情報)

新型コロナウイルス感染症の収束時期などを正確に予測することは困難な状況にありますが、当社グループにおきましては、限定的で大きな影響は生じていないことから、現時点で入手可能な情報に基づいて合理的な金額を算出し、会計上の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルス感染症による経済環境の変化が生じた場合は、当連結会計年度における当社グループの財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

## (セグメント情報)

当社グループの事業は、動力伝導機器、産業機器、制御機器等の機械設備及び機械器具関連商品の販売の単一事業であります。従いまして、開示対象となるセグメントがないため記載を省略しております。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	2,442.16円	2,557.49円
1株当たり当期純利益	110.41円	90.48円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	3,467	2,841
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	3,467	2,841
普通株式の期中平均株式数(千株)	31,403	31,403

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (2020年3月31日)	当連結会計年度末 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	76,692	80,314
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	76,692	80,314
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通 株式の数(千株)	31,403	31,403

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

役員の異動（2021年6月25日付予定）

（1）取締役の異動

檜垣 泰雄 取締役（常勤監査等委員） [現 取締役管理本部管掌]

（2）退任予定取締役

吉田 富一 取締役（常勤監査等委員）